

(特非) 丸瀬布昆虫同好会

武利及び丸瀬布地区に 「虫のいえ」をつくらう

つづける助成

2年目

実践

「虫のいえ」の調査 35人

武利の虫セミナーの実施 60人

今年度計画の達成度 90%

目標達成度 80%



虫のいえとカブトのいえに木を入れる子ども

課題

昆虫を飼育している子は数人であり、1度もつかまえたことのない子は7割を超える。地域住民や子どもたちが地域の豊かな自然に興味を示さなくなってきたという現状がある。

目標

虫をさわれる・つかまえることができる子どもが30%増える。地域の自然に興味・関心を示す人を増やす。

活動内容と成果

活動は、2年目を迎えた。春の調査では、昨年製作し木を入れた「虫のいえ」に、冬を越した虫が入っていた。秋の調査では、新しく製作した「虫のいえ」にも虫が入っていた。「カブト・クワガタのいえ」にも成虫が入り、産卵が確認された。採集した昆虫をアクリル樹脂に封入し標本を製作した。昨年虫にさわられなかった高学年が、低学年に教えながら取り組む姿も見られた。樹脂に封入した昆虫は、さわることが苦手な子ども観察することが容易にできた。身近な所に多くの昆虫がいることに驚くと共に、実際に昆虫を飼育・観察する子どもも出てきた。



昆虫をアクリル樹脂に封入して標本作り

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

前例がみつからず、大きさや設置場所・入れる木の種類など試行錯誤で取り組んだ。子どもたちが関わる設備であり安全に気を配った。

■ 工夫した点

いえの中に入れる木は朽ちた木も用意し、子どもたちに選択させた。別に天井の取り外し可能なカブト・クワガタのいえを製作した。

| 活動地域 |  北海道

〒099-0203
北海道紋別郡遠軽町丸瀬布中町3番地
<https://www.maru-mushi.com/>



今後の
展望

天井を外し雨水が入ることにより、入る虫が増えた。また、木は朽ちた方が良かったことが分かった。標本は、大きな虫を使用する方がわかりやすかった。次年度は「キノコのいえ」を製作し、キノコに入る虫も採集したい。